

財政事情の公表

私たちの街の家計簿 チェック!

今回は、平成5年度の決算のあらましと、9月30日現在の平成6年度一般会計予算と上半期執行状況をあわせてお知らせします。

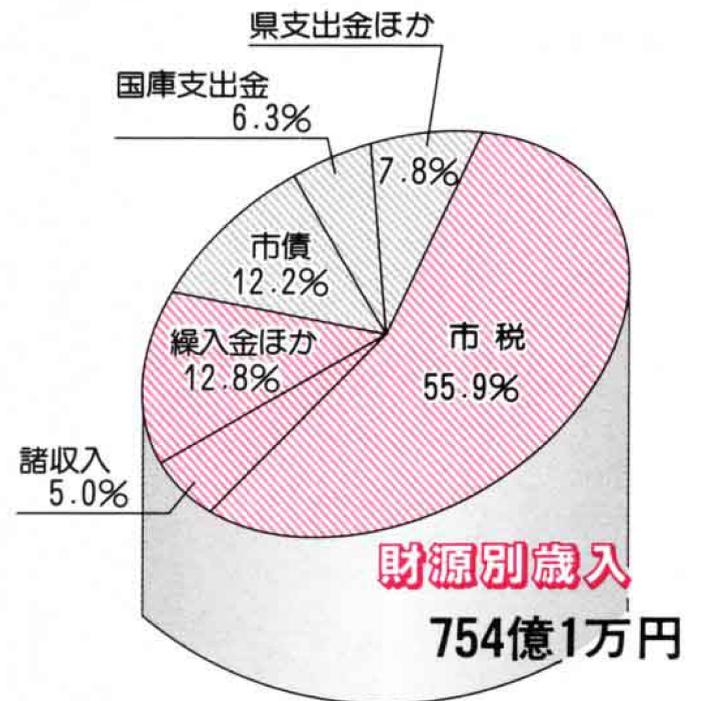
富士市の財政事情は、どうなっているのでしょうか。税金の使い道は、どうなっているのでしょうか。私たちの街の家計簿をチェックしてください。

一般会計

歳入

会計年度内に入ってきたお金

科目別	収入済額
総額	754億 1万円
市税 (市民税・固定資産税など)	421億6,378万円
市債 (市の借入金)	92億2,400万円
国庫支出金 (国からの補助金など)	47億6,387万円
諸収入 (預金利子など)	37億7,950万円
繰入金 (基金からの繰入金)	34億8,568万円
繰越金 (前年度からの繰越金)	26億 171万円
県支出金 (県からの補助金など)	21億4,190万円
地方譲与税 (国から地方に譲与されるお金)	18億4,200万円
分担金及び負担金(施設入所者の負担金など)	17億1,376万円
使用料及び手数料 (市営住宅使用料など)	14億4,250万円
その他 (県からの交付金など)	22億4,131万円



※一般会計とは、市税収入を主な財源として道路、教育、福祉などに使う会計です

自主財源
依存財源

市民1人当たりに使ったお金 31万2,675円

内訳の主なものを見ると……



学校整備や
社会教育に

7万8,219円



道路や河川
の整備に

7万2,196円



社会福祉
などに

3万8,420円



ごみ処理や
病気の予防に

3万902円



市民1人当たりの
市税負担額

18万2,434円

※H6.4.1の人口
23万1,118人で算出

決算の

あらまし

平成五年度は、「ふじ二十一世紀プラン」に基づき、ふれあいのある快適な街を目指して、限られた財源を有効に使いながらさまざまな事業を行いました。一般会計の決算額は、歳入が七百五十四億一万円で、歳出は七百二十二億六千四百八十七万円でした。

富士市の歳入は、市税などの自主財源が七三・七％、国庫支出金などの依存財源が二六・三％となっています。

歳入で最も多いのは、市民税や固定資産税などの市税。全体の五五・九％を占め、四百二十一億六千三百七十八万円です。この額は、市民一人当たり約十八万円を負担していただいたこととなります。

歳出を科目別に見ると、教育費がトップで全体の二五％を占めています。ロゼシアターの建設を初め、(仮称)新中央図書館の建設や吉原商業高校の校舎改築などに、百八十億七千七百八十九万円を使用しました。歳出を市民一人当たりに使ったお金の換算すると、約三十一万円になります。

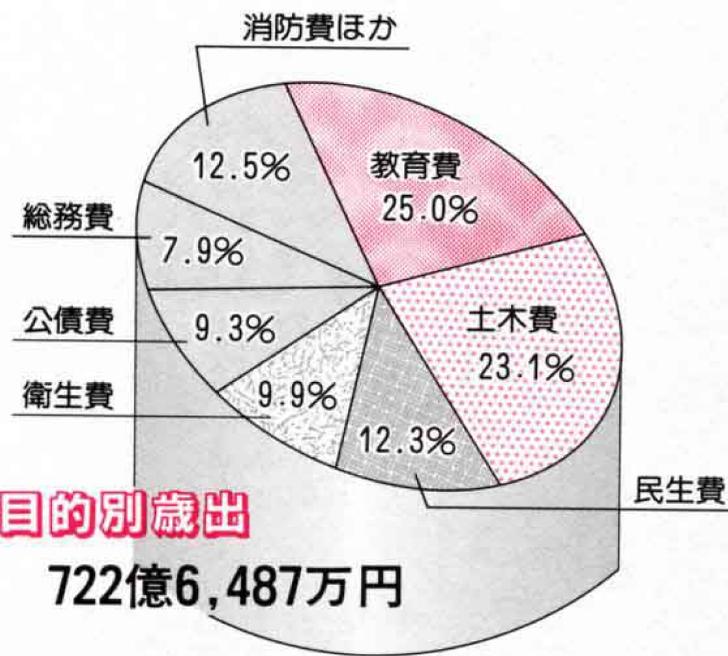
平成5年度

会計年度内に使ったお金

歳出

※会計年度(4月1日～翌年3月31日)

科目別	支出済額
総額	722億6,487万円
教育費 (学校整備や社会教育に)	180億7,789万円
土木費 (道路や河川の整備に)	166億8,570万円
民生費 (社会福祉などに)	88億7,944万円
衛生費 (ごみ処理や病気の予防に)	71億4,193万円
公債費 (借りたお金を返すために)	66億9,882万円
総務費 (庁舎管理や人件費などに)	57億 282万円
消防費 (消防・水防・防災のために)	24億6,018万円
農林水産業費 (農林業や水産業のために)	21億5,870万円
労働費 (働く人のために)	21億1,794万円
商工費 (商業や工業の発展のために)	17億9,784万円
議会費 (議会の運営のために)	5億3,391万円
災害復旧費 (災害復旧のために)	970万円



歳入 329億1,446万円
歳出 320億1,381万円

特別会計

行政の基本的な経費を一般会計といい、特定の事業ごとに分けて、別個に会計を設置している経費を特別会計といいます。富士市には、十六の特別会計と二つの企業会計があります。左の表は、財産管理特別会計(内山、旧吉原、旧島田、旧今泉、旧今泉・一色・神戸・今宮、旧元吉原、旧須津、旧吉永、旧原田)を省略しました。

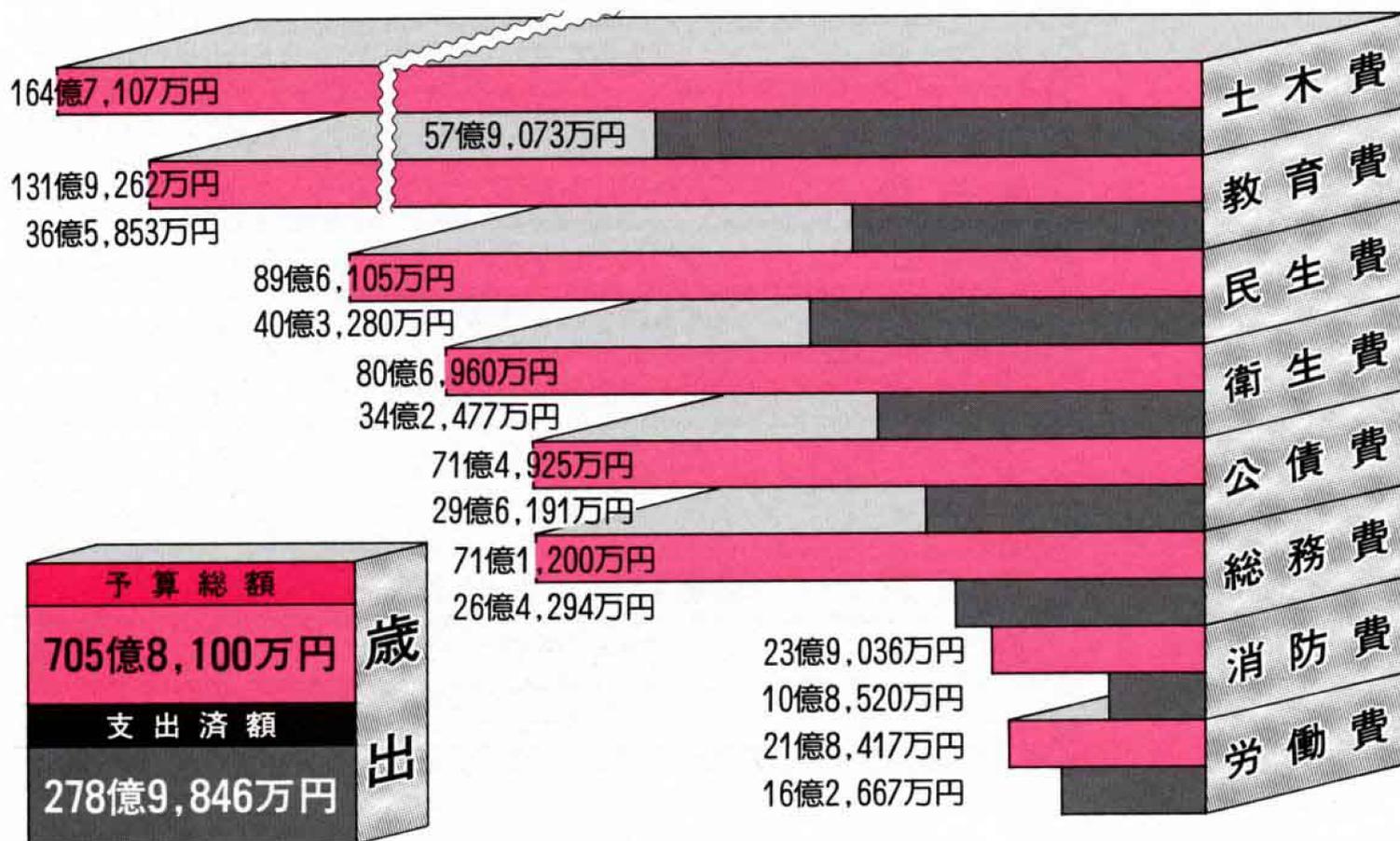
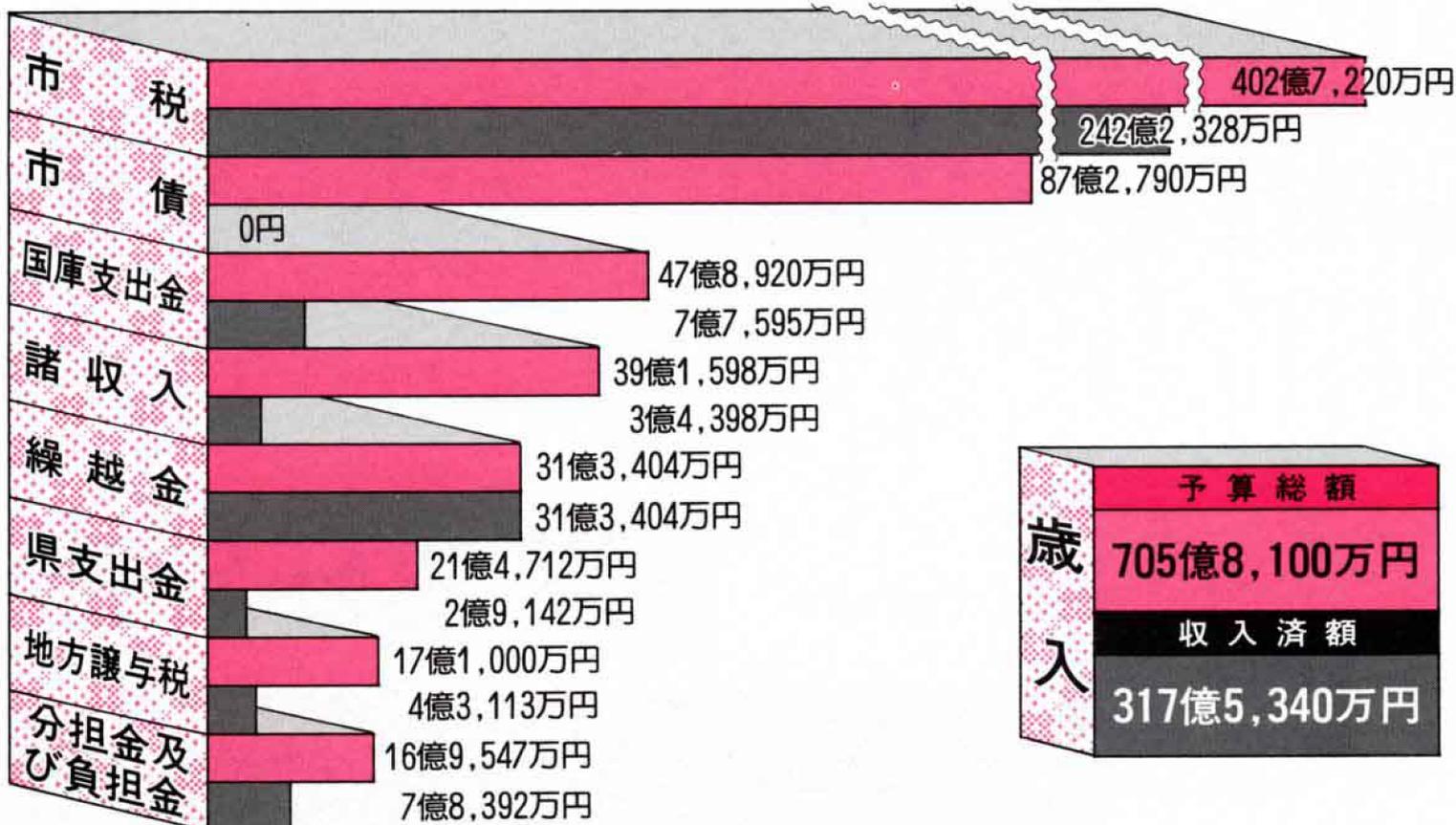
特別会計区分	歳入	歳出
下水道事業	108億3,964万円	108億1,081万円
国民健康保険事業	94億3,743万円	88億6,364万円
老人保健医療事業	87億1,291万円	86億9,306万円
富士中部土地区画整理事業	18億5,764万円	18億4,409万円
公共用地先行取得事業	13億5,466万円	13億5,466万円
地方卸売市場事業	3億 974万円	3億 822万円
駐車場事業	6,607万円	6,489万円

平成6年度一般会計の上位8科目予算と執行状況

(上段：予算額 ■ 下段：執行額 ■)

平成六年度

一般会計は追加補正で約706億円



平成六年度の一般会計は、九月議会で三十二億三千万円が追加補正されて、総額七百五億八千万円になりました。

また、歳出の執行率は、九月三十日現在で三九・五%です。

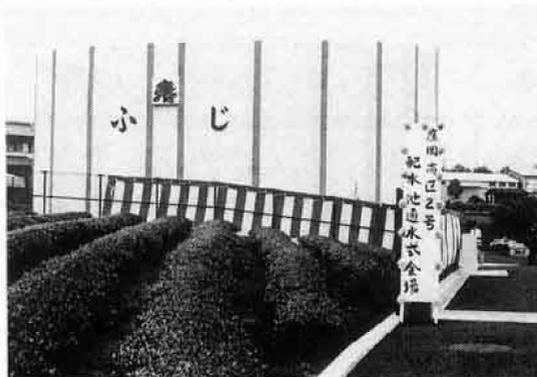


病院事業

収入合計	101億8,893万 972円
医業収益	84億8,408万6,388円
医業外収益	17億 484万4,584円
支出合計	101億5,126万3,624円
医業費用	95億6,621万5,496円
医業外費用	5億8,504万8,128円
純利益	3,766万7,348円

水道事業

収入合計	31億 332万8,849円
営業収益	28億8,743万7,539円
営業外収益	2億1,589万1,310円
支出合計	28億1,306万7,271円
営業費用	23億6,773万1,119円
営業外費用	4億4,533万6,152円
純利益	2億9,026万1,578円



平成五年度 企業会計決算